

第524回 日本小児科学会福岡地方会例会

令和6年3月2日(土)

14:30-18:06 受付14:00～

九州大学病院ウエストウイング棟

4・5階臨床大講堂 ※受付は5階です

ハイブリッド開催予定

Web配信の詳細は裏表紙をご参照ください。

一般演題 14題 (グラウンドラウンド1題を含む)

特別講演

山下 裕史朗 先生

(久留米大学医学部小児科学講座 主任教授)

- *原則、筆頭演者は、日本小児科学会福岡地方会会員であることとします。
- *当日、演者の先生は、発表の30分前までに演者受付までお越し下さい。また、座長の先生は、各セッションの15分前までに座長受付までお越し下さい。
- *一般演題は口演時間6分、質疑応答3分です。
- *グラウンドラウンド演題は口演時間10分、指定発言・質疑応答20分です。
- *発表はすべてパワープロジェクター1台といたします。
2ページ目の説明を必ずご覧下さい。
- *一般演題のスライドは10枚以内を原則とします。

次回予告：令和6年6月8日(土)

会場 九州大学医学部 百年講堂

(ハイブリッド開催予定)

演題締切 令和6年4月19日(金) 午後5時必着

- *演題は、地方会Webサイトのマイページから登録して下さい。演題登録完了時に、自動メールが届きます。演題登録メールが来ない場合は、演題登録に不備がある可能性がありますので、まずはWebページで確認して下さい。不明点などは事務局までご連絡下さい。
- *抄録は、演題申し込み要項 (表紙裏に別途記載) を参照の上、規定を遵守して下さい。
- *演題は原則として1施設から3題までに限定致します。

日本小児科学会福岡地方会事務局

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

九州大学医学部 小児科学教室

TEL 092-642-5421 (直通) FAX 092-642-5435 (直通)

e-mail info@jpsfukuoka.jp

<演題申し込み要項>

演題は全角50文字まで、本文文字数は全角200字までです。漢字ひらがなカタカナはすべて全角、数字・英字は半角で表示ください。半角2文字は全角1文字と数えます。200字を越えて登録はできません。

所属は次の様に略記を統一します。

大学　：産医大・久大・福大・九大・佐大など

診療科：児・児外・新生児・心外・耳・眼・整外など

病院の場合は「病院」はつけない。センターは「セ」とし「国立病院機構」は「国立」とする。開業医は「一市」と医
院所在地名とクリニック名をつける。

演題登録時に、下記から希望するカテゴリーを2つ選択してください。(第一希望、第二希望)。希望するカテゴリーの演題数が少ない場合、プログラム委員会の判断で他のカテゴリーと合わせたセッションを設ける場合があります。

抄録提出の時点でグラウンドラウンドに選ばれる可能性を了承しているものとみなします。

プログラムのセッションのカテゴリー

- | | |
|-------------|----------------|
| (1) 先天異常・遺伝 | (10) 消化器・栄養・発育 |
| (2) 先天代謝異常 | (11) 神経・筋 |
| (3) 内分泌 | (12) 精神・心理 |
| (4) 腎・泌尿器 | (13) アレルギー・呼吸器 |
| (5) 免疫・膠原病 | (14) 救急 |
| (6) 新生児 | (15) 外科 |
| (7) 感染症 | (16) 小児保健 |
| (8) 循環器 | (17) プライマリ・ケア |
| (9) 血液・腫瘍 | |

Young Investigator's Award 募集

対 象

2023年6月開催回～2024年3月開催回までの小児科学会福岡地方会例会で発表された臨床に関する演題を対象

ただし、同内容で他の学会賞などを受賞したものは除く

応募資格

- 筆頭演者として地方会で発表を行い、かつ応募時に小児科専門医取得前であること（年齢は不問）
- 本賞の受賞歴がないこと
- 同一年度での応募は1演題に限る
- 所属機関ごとでの応募人数制限は設けない

応募期間

2024年3月4日～2024年4月12日 17時

応募方法

地方会ホームページ AWARD よりご応募ください。

授賞人数

最優秀賞 1名 優秀賞 2名

発表・表彰

2024年の6月の地方会総会で表彰し、記念品を授与する受賞者には5月下旬に事務局より連絡します。

補 足

受賞者は、演題内容を論文化前であれば専門医取得にむけ、できるだけ論文化を行うこと

日本小児科学会福岡地方会ホームページ

<https://jpsfukuoka.jp/>



演者の方へ

円滑な学会運営のため、一般演題のスライドは10枚程度で、口演時間6分をお守りください。

1. 発表セッションの1時間前までに「演題受付」にてデータ受付をお済ませ下さい。
2. ご自身のPCあるいは、Macintoshでのプレゼンテーションには対応しておりません。
3. お持ち込み頂けるメディアは、USBフラッシュメモリーだけです。
4. 不意のアクシデントに備え、必ずバックアップファイルをご持参ください。
5. ファイルのスライドショーは発表者が行って下さい。
6. ファイルは地方会終了後に事務局が全て消去します。

<スライド作成上の注意>

1. ソフトはMicrosoft社PowerPointを使用してください。コンピューターのOSはWindows10を使用します。予めPowerPointで作成したファイルの映像、動作をご確認の上ご持参ください。
2. スライドのサイズ指定を「画面にあわせる」に設定してください。
ファイル→ページ設定から設定できます。
3. 動画ファイルは、MPEG1もしくはWMVでお願いします。
4. アニメーションや動画は控えめをお願いします。1枚のスライドは、原則として1度のクリックで全てが表示されるようお願い致します。

先天異常・遺伝

14:30-14:48

座長 福井香織 (久大 児)

1 NGLY1 関連先天性脱グルコシル化障害の 13歳男児

¹九大 児 ²福岡赤十字 児 ³横浜市立

○園田有里¹、梶原健太¹、チョンピンフィー¹、
酒井康成¹、大賀正一¹、松倉 幹²、鳥尾倫子²、
米元耕輔²、波多江 健²、藤田京志³、松本直通³

13歳男児。精神運動発達遅滞あり、5歳から運動失調、12歳からミオクロニー発作を示し、難治に経過した。食欲不振と、運動および認知機能低下が進行した。体性感覚誘発電位(SEP)にてgiant SEPを確認した。ペランパネルによりミオクロニー発作が減少し、運動機能が改善した。NGLY1変異が同定され、国内初のNGLY1関連先天性脱グルコシル化障害と診断された。同疾患で進行性ミオクローヌステんかんを示す可能性が示唆された。

2 ケトン食療法で発達の改善を認めたピルビン 酸脱水素酵素複合体(PDHC)欠損症の1例

¹福大 児 ²福大筑紫 児

○渡邊綱之輔¹、林 仁美¹、古賀信彦¹、山口拓洋¹、
藤田貴子¹、井上貴仁²、永光信一郎¹

3歳女児。精神運動発達遅滞、低身長を主訴に受診し、診察で眼瞼下垂と体幹の筋緊張低下、両側足関節拘縮を認めた。血液・髄液検査で乳酸高値であり、遺伝子検査でPDHA1遺伝子変異を認め、PDHC欠損症と診断した。PDHC欠損症ではケトン食療法が運動・神経認知機能発達に対して有効であったとの報告があり、本症例でもケトン食療法を開始後、発達の伸びを認めた。PDHC欠損症では早期診断とケトン食療法の早期導入が望ましいと考えた。

感染症 I

14:48-15:06

座長 神野俊介 (九州医療セ 児)

3 *Mycobacterium massiliense* による医療・ 介護関連肺炎 (NHCAP) を発症した 1 例

¹産医大 児 ²産医大 呼

○山口定信¹、川村 卓¹、緒方愛実¹、五十嵐亮太¹、
米田 哲¹、白山理恵¹、福田智文¹、齋藤玲子¹、
保科隆之¹、根本一樹²

基礎疾患に Gaucher 病があり、療育施設に長期入所している 14 歳男児。急性肺炎の加療目的に当科に転院となった。広域スペクトラムの抗菌薬の単剤投与では効果が乏しく、喀痰を再度採取したところ、検鏡で抗酸菌を認め、培養で *M. massiliense* が検出された。AMK、IPM/CS および CAM の併用療法により病勢がコントロールできた。難治性 NHCAP では抗酸菌の関与を疑う必要がある。

4 持続する嘔気、腹痛、倦怠感で受診した A 型 肝炎の 1 例

¹福岡東医療セ 児 ²久大 児

○山下もも¹、松尾光通¹、石倉稔也¹、吉元陽祐¹、
山下文也¹、黒川麻里¹、西間大祐¹、増本夏子¹、
中原和恵¹、李 守永¹、水落建輝²

10 歳女児、アフガニスタン国籍。嘔気、腹痛、倦怠感が 10 日間持続し、受診時肝腫大と著明な肝機能障害を認めた。血清 HAV IgM 陽性で A 型肝炎と診断し、対症療法のみで軽快した。問診から感染経路は特定できなかった。遺伝子型は III A 型で、中でもアフガニスタン渡航者から検出されるクラスターに分類され、同郷コミュニティー内での感染を疑った。A 型肝炎流行地のコミュニティーに属する場合は、肝障害の鑑別に挙げる必要がある。

感染症 2

15:06-15:24

座長 伊東和俊 (福大 児)

5 呼吸器ウイルス感染と川崎病発症に関する分子疫学的検討

¹福岡こども 感免 ²福岡こども 循集 ³福岡こども 総診
⁴福岡こども 教育研修支援室 ⁵福岡こども 川崎病セ

○丸谷健太郎¹、村田憲治¹、水野由美¹、小野山さかの¹、
山村健一郎²、古野憲司³、楠原浩一⁴、原 寿郎⁵

FilmArray呼吸器パネルを施行した2460例を川崎病群、気道感染症群、コントロール群に分類し、呼吸器病原体の陽性率を比較した。川崎病群は、コントロール群よりRSウイルス、ヒトライノ/エンテロウイルス、パラインフルエンザウイルス3型、アデノウイルスの陽性率が高く、重複感染も多かった。感染と川崎病発症までの時期的なずれ、抗体陽性率等を調べた。これらの結果からウイルス感染と川崎病発症との関連に関し考察する。

6 多発塞栓症を合併した感染性心内膜炎の1例

¹地域医療機構九州 児 ²大分県立 児

○池田正樹¹、宗内 淳¹、清水大輔¹、田中惇史¹、
古賀大貴¹、峰松伸弥¹、峰松優季¹、杉谷雄一郎¹、
渡辺まみ江¹、江崎大起²、原 卓也²

13歳女性。腹痛のため虫垂炎の疑いで前医で施行した造影CT検査で右急性巣状細菌性腎炎と診断。血液培養で*Abitrophia defectiva*を検出。収縮期心雑音のため実施した心エコー図で僧帽弁前尖に径12mmの可動性ある疣贅、中等度僧帽弁逆流、心房中隔欠損合併を認めた。脳MRIで微小梗塞像あり。6週間の抗菌薬加療中、左下肢動脈塞栓症を発症し保存的治療。7週目に当院転院後、僧帽弁形成術を実施し退院。外科的介入時期に苦慮した症例であった。

救急

15:24-15:51

座長 多久佳祐 (産医大 児)

7 自宅で気管内から出血し、腕頭動脈離断術を施行した福山型先天性筋ジストロフィーの1例

¹久大 児

○莫根良太¹、向井純平¹、東 陽三¹、山下大輔¹、
石井隆大¹、山下裕史朗¹

19歳女性。福山型先天性筋ジストロフィーで繰り返す誤嚥あり、気管開窓術・喉頭気管分離術後、在宅人工呼吸器管理を受けていた。自宅で気管切開チューブより出血を認めため、当院へ救急搬送された。耳鼻科医による処置で一旦は止血したが、全周性の肉芽を認め、CTにて腕頭動脈と気管切開チューブ先端が近接していたため、気管腕頭動脈瘻を疑い腕頭動脈離断術を施行した。術中所見を交えて報告する。

8 重篤な心・腸管合併症をきたしECMO管理を要した腸管出血性大腸菌による溶血性尿毒症症候群の1例

¹九大 児 ²九大 児外

○出羽航大¹、竹本竜一¹、井形優平¹、末松真弥¹、
冨田宜孝¹、松岡若利¹、水口壮一¹、西山 慶¹、
本村良知¹、永田 弾¹、賀来典之¹、大賀正一¹、
鳥井ヶ原幸博²、永田公二²、田尻達郎²

4歳男児。X日に腹痛、下痢、血便が先行し、X+5日に溶血性尿毒症症候群(HUS)を発症し当院へ転院となり、持続的血液濾過透析等の加療を開始した。X+8日に心筋炎合併のため体外式膜型人工肺(ECMO)を導入し、腸管壊死に対してストマ造設を要した。血清学的解析により志賀毒素産生性腸管出血性大腸菌(STEC)がHUSの原因と判明した。STEC-HUSでは重篤な心・腸管合併症を呈する場合があります、注意が必要である。

9 停留精巣に合併した精巣捻転の1例

¹九大 児外

○奥家壮太郎¹、福田篤久¹、田中悠一朗¹、玉城昭彦¹、馬庭淳之介¹、近藤琢也¹、高橋良彰¹、川久保尚徳¹、永田公二¹、松浦俊治¹、田尻達郎¹

6歳男児。乳児期に左精巣高位を指摘されたが経過観察となっていた。鼠径ヘルニア嵌頓を疑われ当科に紹介。陰嚢内に精巣を触知せず超音波検査にて左鼠径部に血流不良な精巣を認めた。精巣捻転の疑いで緊急手術。精巣に不可逆的な血流障害を認め除睾術を行った。停留精巣における精巣捻転の発生率は正常精巣に比して高いとされる。停留精巣では捻転を生じる可能性について家族への説明および定期的なフォローアップが重要である。

特別講演

15:55-16:55

座長 大賀正一（九大 児）

ADHDの包括的治療を求めて

山下 裕史朗 先生

久留米大学医学部小児科学講座 主任教授

注意欠如多動症（ADHD）は、行動の問題を主体とする学齢期に最も多い（3～7%）神経発達症であり、プライマリケア医に対応が求められる。ADHDの3主要症状は、不注意、多動性、衝動性である。DSM-5の診断ポイントは、12歳までに、2つ以上の状況で症状が存在、社会的に障害を起こしていること、他の疾患では説明がつかないことである。3つの脳機能不全：実行機能不全、報酬系の不全、時間知覚機能不全が言われてきた。ADHD患児の9割は、成人までいくつかの症状を持ち続ける。失敗の反復や叱責によって自己評価が下がり、不安障害や気分障害の併存も二次的に起こしやすい。予後改善のためには、小児期からの包括的治療が望ましい。エビデンスのある治療法は、行動療法と薬物療法、両者の併用である。保護者や教師を対象としたペアレント/ティーチャー・トレーニング、子どもを対象としたソーシャル・スキルトレーニング、Summer Treatment Program（STP）などの心理社会的療法の普及が重要である。現在、わが国で使えるADHD薬は、メチルフェニデート徐放剤、アトモキセチン、グアンファシン、リスデキサアンフェタミン酸塩の4種類である。中枢刺激薬のメチルフェニデート徐放剤とリスデキサアンフェタミン酸塩は、登録した医師・薬局でしか処方できない。薬物が効果を示しても、心理社会的療法は継続すべきである。

特別講演はハイブリッド配信で行います。**会場での聴講**により専門医制度（新制度）の更新単位 iii 小児科領域講習 I 単位を取得できます。

※単位取得には講演開始から完全に終了するまで受講いただく必要がございます。講演開始後 10 分でドアを閉鎖します。途中退出された場合、基本的に受講証のお渡しはできません。

特別講演の **Web 視聴** によっても専門医制度（新制度）の更新単位 iii 小児科領域講習 I 単位を取得できますが下記の手順が必要です。

※単位取得には講演開始から完全に終了するまで視聴し、かつ確認テストで 80 点以上正解していただく必要がございます。

※確認テストには、講演終了後の画面に提示する QR コードもしくはチャット欄に提示する URL からログインください。必要事項を入力の上、テストにご回答ください。テストは何回でも回答することが出来ます。一度 Zoom からログアウトすると URL は再表示されませんのでご注意ください。

※視聴ログと確認テストの結果を事務局で確認し、後日単位のチケットを郵送いたします。

※視聴から回答までの手順の詳細を地方会 HP に掲載しておりますので、視聴前にご確認ください。

腎・泌尿器

17:00-17:18

座長 渡辺ゆか (福岡こども 腎)

10 急性腎障害 (AKI) を合併した急性巣状細菌性腎炎 (AFBN) の乳児例

¹北九州総合 児

○煙草谷ひかる¹、齊宮真理¹、永汐 孟¹、緒方愛実¹、宮本智成¹、石井雅宏¹

10 か月男児。尿路感染症 (UTI) の診断で入院した。入院後に乏尿と腎機能の悪化を認め、腎前性および腎性の AKI と判断し、抗菌薬投与に加え慎重に体液管理を行なった。入院 3 日目に血清クレアチニン値が 1.83 mg/dL まで上昇したが、急性血液浄化療法は要さず軽快し、最終的に AFBN と診断した。UTI は日常よく診る疾患であるが、著明な腎機能障害を呈した症例は稀であり報告する。

11 透析導入を回避できた溶連菌感染後糸球体腎炎 (PSAGN) の 1 例

¹久大 児

○江藤美咲¹、末継智士¹、甲斐蘭七¹、山川祐輝¹、北城恵史郎¹、日吉祐介¹、田中征治¹、西小森隆太¹、山下裕史朗¹

12 歳女児。感冒症状から 2 週間後に腹痛、嘔吐を認め受診。高度の腎機能障害 Cr-eGFR: 15.2ml/min/1.73、尿蛋白 3+、尿潜血 3+、浮腫、低補体血症、ASO 高値を認め、急性腎炎症候群を考えた。血圧、電解質・血液ガスに異常なく、利尿剤と塩分・蛋白・水分制限で経過観察。入院 16 日目の収縮期血圧 160mmHg であり Ca 拮抗薬内服開始。腎生検は PSAGN と急性尿細管壊死の所見。Cr-eGFR: 110(10 週後) と改善し、血圧も内服中止後も正常化を認めた。

プライマリ・ケア

17:18-17:36

座長 田中悠平 (久留米市)

12 ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンの接種率を上げるために ～福岡大学アンケート調査結果をもとに～

¹福大 児 ²福大 感染制御部 ³福大 産婦

○児島加奈子¹、瀬戸上貴資¹、伊東和俊¹、戸川 温²、
四元房典³、永光信一郎¹

わが国における HPV ワクチン定期接種の接種率は 1.9% と低い。現在、積極的接種中止期間に該当する女性へのキャッチアップ接種が行われているが、接種率は依然低値である。今回、福岡大学全学生 (約 2 万人) に対して HPV ワクチンに関するアンケート調査を行った結果、情報提供による HPV ワクチン接種に対する意識の変化がみられた。かかりつけ医からの児、保護者への啓発が接種率上昇に繋がる可能性がある。

13 牛乳の摂取で喉頭症状が起こり、アナフィラキシーが疑われた幼児の 1 例

¹国立福岡 児

○高瀬章弘¹、中尾慎吾¹、安成大輔¹、岡部公樹¹、
沼田里奈¹、田場直彦¹、松崎寛司¹、本村知華子¹、
曳野俊治¹、本荘 哲¹、小田嶋博¹

2 歳男児。牛乳を飲むと犬吠様咳嗽や嘔声が繰り返しみられた。特異的 IgE で乳 2.53 UA/mL (クラス 2) と上昇あり、牛乳アレルギーとそれによるアナフィラキシーが疑われた。チーズやヨーグルトといった他の乳製品は症状誘発がなく、液体の摂取で日常的に湿性咳嗽があることから誤嚥の合併を疑い、嚥下造影検査を実施した。嚥下の際に食物の喉頭侵入と残留物の停滞あり、牛乳アレルギーと嚥下障害の合併で喉頭症状が誘発されると考えた。

福岡地方会グラウンドラウンド(第10回)

17:36-18:06

座長 古野憲司 (福岡こども 総診)

14 小児病院に搬送される薬物過剰摂取患者の増加と問題点

¹福岡こども 総診

²福岡こども 感免

³福岡こども こころ

⁴福岡こども 教育研修支援室

○松本 感¹、田中 航¹、加野善平¹、空閑典子¹、
平岡聡子¹、鳥尾倫子¹、古野憲司¹、小野山さかの²、
宮崎 仁³、楠原浩一⁴

薬物過剰摂取が20代の若者を中心に全国的に社会問題となっており、小児患者も増加している。当院は小児病院であり例年は年に0-2人の搬送であったが、2023年度は6人と増加した。最年少は11歳で、薬品は市販薬に加え、本人や家族の処方薬も含まれていた。重篤な転帰をとった患者はいない。再発防止やこころのケア、家族関係の再構築等のフォローアップが必要と考えられるが、退院後の受け皿探しに毎回難渋している。

指定発言



企業分離製剤(皮下注用ヒト免疫グロブリン製剤)
 生物学的同等薬品 20H4低免疫性ヒト免疫グロブリン(皮下注用)

ハイゼントラ[®] 20% 1g/5mL
Hizentra[®] 20% S.C. Injection 皮下注 2g/10mL
 4g/20mL

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む
 注意事項等情報等については電子添文をご参照ください

CSL Behring

製造販売(輸入):
CSLベーリング株式会社
 〒107-0061 東京都港区北青山一丁目2番3号

文献請求先及び問い合わせ先:
くすり相談窓口 TEL:0120-534-587

JPN-HPS-0155
 2023年7月作成



**変革を推進し、
 糖尿病やその他の
 深刻な慢性疾患を
 克服する**

ノボ ノルディスクは、より多くの患者さんの、
 より良い人生の実現のため、
 社会に付加価値を与える
 持続可能な企業であることを目指しています。

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
www.novonordisk.co.jp
 JF2274500030 0222年11月現在



生菌製剤
ミヤBM® 細粒
MIYA-BM® FINE GRANULES

生菌製剤
ミヤBM® 錠
MIYA-BM® TABLETS

酪酸菌(宮入菌)製剤

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

薬価基準収載

製造販売元
Miyabisan ミヤリサン製薬株式会社

資料請求先：[学術部] 東京都北区上中里 1-10-3
TEL: 03-3917-1191 FAX: 03-3940-1140

発売準備中

◎ 効能又は効果、用法及び用量、接種不適当者を含む注意事項等情報等については、電子添文をご参照ください。

比湾精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオヘモフィルスb製混合ワクチン

ゴビック 水性懸濁注シリンジ

(ワクチン・トキシイド混合製剤 生物学的製剤基準)

薬価基準未収載

生物由来製品 | 劇薬 | 処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

製造販売元
阪大微生物病研究会
一般財団法人 阪大微生物病研究会
香川県観音寺市瀬戸町丁目1番70号

販売元 (支店・譲渡先及び7院、合わせ先)
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区通事町3-2-10
製品情報に関するお問い合わせ
TEL: 0120-753-200 (受付相談センター)
販売情報提供活動に関するご意見
TEL: 0120-268-571

2023年3月作成
(第)23頁028

〔例会予定〕

例会	日程	演題締切
525回	令和6年6月8日(土)	4月19日(金)
526回	令和6年9月14日(土)	7月19日(金)
527回	令和6年12月14日(土)	10月18日(金)
528回	令和7年3月8日(土)	1月17日(金)

〔会場〕 **九州大学医学部百年講堂**

住所：福岡市東区馬出3-1-1

現時点ではハイブリッド開催の予定ですが、状況によってはWeb開催のみに変更することがあります。開催の状況につきましては、

日本小児科学会福岡地方会ホームページ
<https://jpsfukuoka.jp/>



でご確認ください。

— 【ZoomウェビナーによるWeb配信も同時に行います】 —

※Web参加の場合、参加単位は付与されません。

※Zoom URLは地方会ホームページのマイページに掲載します。

■上記アクセスについてのお問い合わせ

(前日まで) 0942-44-5800

(当日) 080-5805-6658

・各演題へご質問される際は、Zoomの「手を挙げる」を行ってください。

・座長が指名しましたらミュートを解除してご発言ください。

*日本小児科学会福岡地方会会員マイページのログインID、PWを紛失された方は、福岡地方会事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

日本小児科学会福岡地方会事務局

e-mail : info@jpsfukuoka.jp

日本小児科学会福岡地方会会則 施行細則（抜粋）

平成19年4月7日制定

平成27年4月11日改訂

1. 筆頭演者は、日本小児科学会福岡地方会会員であることとする。
2. 年会費は5,000円とする。単回登録の臨時会員は会費2,000円とする。
3. 退会しようとする会員は、退会届を会長に提出しなければならない。尚、会費を3年以上滞納したときは、退会とみなす。

大切なお知らせ

二〇二四年六月より
抄録集の郵送を
終了します

地方会事務局



※会場での抄録集配布は継続します。

※抄録集はマイページでの閲覧・ダウンロードが可能です。

日本小児科学会福岡地方会ホームページ

<https://jpsfukuoka.jp/>



※初期ID・PWをお忘れの方は、福岡地方会事務局までメールにてお問い合わせください。

日本小児科学会福岡地方会事務局

e-mail : info@jpsfukuoka.jp

〔小児科専門医研修記録簿用〕

第524回日本小児科学会福岡地方会

会長：大賀 正一

開催日：2024年3月2日

会場：九州大学医学部 臨床大講堂

日本小児科学会 新更新単位 参加証iv 1単位

公 印